

心よりお見舞い申し上げます。

私達は、過去10年間毎年のように地震・台風の被害等の自然災害に遭遇しています。特に2011年3月11日に東北地方を中心に起こった東日本大震災は、今なお、深い痛みを引きずっています。原子力発電所から出る処理水の問題は我々全日本人に課された課題だと思えます。

2011年以降も熊本地震・北海道胆振地震・西日本豪雨・昨年9月4日の台風21号・今年関東を襲撃した台風15号・19号と全く大きな災害がゼロの年は有りません。

民主党政権の時に『コンクリートから人へ』という予算配分の考え方は、間違っていなかったと思えます。(小生は中立です。)しかし政治家に現在の事より10年・20年先のビジョンを語る人が少なかったから、色んな問題が生じていると思えます。

小生は地元が大阪なので実際に経験した事を下記に書きます。

2018年6月18日の大阪北部震源。2018年9月4日の台風21号共に大阪に多大な損害をもたらしました。1年以上過ぎていますが、まだまだ手も付けられない現場も多数有ると何時もお願ひしている工務店さんから聞いています。

工務店さんからの返事は簡単です。二つのキーワードです。**物不足と超人手不足**
物不足の件で施行業者から聞く話の中で『ハイテンションボルトが足りない』は一番典型のお話です。

これ以外にも多くの工場で屋根のスレートが大きな被害を受けていますが、スレートの上に直接カバー工法で修繕工事が実施されています。(スレートを外すとアスベストの問題を生じます。)カバー工法に使われる資材にも大量の注文が来ているので、これも超品薄状態になっています。

普通に考えたら、残業してでも作ってくれたらと言う考え方が有るのが当然だと思えますが、大量生産出来る工場でない事と、働き方改革で作りたくても作れないと言う事情も有ると聞いています。

次に**人手不足**の件ですが、小生の会社の被害を例にします。ブロック塀が倒れました。平常時なら1か月もかかりませんが、北大阪地震でブロック塀の倒壊事故が多数発生したのでブロック積を行って頂いたのは、9月4日から6か月もかかった今年の3月でした。

従業員の休憩室が飛ばされたのですが、元通りの休憩室に戻ったのは実に10か月も経過した7月でした。

最後の工事がスレートの上に直接カバーする所ですが、今月末には、台風21号以前の状態にほぼ戻る予定ですが、13か月も時間が必要でした。

ブロック屋さん・大工さん・板金屋さんの3業種さんが主な修繕工事業者様ですが、職人さんは共に高齢化しています。平均年齢60歳以上が殆どです。

若い方も中には極わずらいらっしゃいますが、10年先を考えるともっと人手不足が慢性化しているように思えてなりません。

服部新聞で以前大工の適正な収入は800万と書きましたが、この数字に近い収入を出す事が出来なければ日本の建築の現場は衰退していくと工務店さんから聞いています。

しかしこの数字を出せる現場は本当に少なく、特に大手の下請けの仕事はほぼ無いともお話しして頂きました。

二人の大工さんが必要な現場がありました。一つは服部商店所有のマンション一部屋の100%リフォーム工事。もう一つは服部商店の休憩室の解体から作り直す現場です。ベテランの大工さんは服部商店の方を担当して頂きました。

マンションの工事はフォーマットがありますから、ほぼ100%建材です。削る事は有りません。長さを調整して納めるだけです。

しかし休憩室は基礎からやり直す必要がありましたが、基礎専門の方も超多忙で来てくれないから、腕の良い大工さんに施工して頂きました。

現在の若者たちに仕事の成果に合わせた収入を出せる日本の社会システムにならない限り、災害が何時起こるか解らない状況の日本では、安定した日本国民の暮らしは出来ないのではないかと思います。

10月16日岩手県盛岡市に仕事で出かけましたが、岩手県の沿岸部の被害は東日本大震災ほどでは有りませんが、凄い被害が出ています。知人も遭遇していますとお話を伺いましたが、かける言葉が有りませんでした。

政府は予備費から本年度5000億の緊急対策を施工すると言っていますが、一刻も早い復旧工事と復興工事を進めるなら、少しは働き方改革の方針を緩くしてはどうでしょう。

プラスして職業訓練校の再開もして欲しいと思います。公から民間と言う流れは間違っていないとは思いますが、全国各地に合った公設の職業訓練校をライフラインと言う考え方で行政を組み立てて欲しいです。

例えば家具工芸科は昔大阪に2校・京都1校・和歌山1校・奈良県1校と5校ありましたが、現在は奈良県1校のみです。多くの家具職人がいれば、緊急の時住まいの簡単な補修は可能です。

勿論大工さんの職業訓練校も大事な事ですが、活躍出来る大工さんを公の目で確認できる仕組みが出来たら、このレベルの大工さんは年収800万円。このレベルなら600万円。このレベルなら400万円と消費者さんからクリアーに見えたら、私の住まいの予算はかけられないから400万の大工さんが出来る100%シート張りの建材が良い。

私はこだわりが有る。予算も有る。だから800万の大工さんをお願いしたい。こんな仕組みが出来たら、どんどん若者が職人の世界に飛びこんで来ると考えています。

災害の復旧・復興も大事ですが、これから日本国内の問題は、老朽化したインフラの取り換えをするのか、それとも違う方法を取るのかの選択ではと考えています。

超高齢化社会は限界集落の言わば統廃合と言う形しか一見ないように見えますが、そうではなく有り余っている国内産針葉樹（ヒノキ・スギ）を大量に使う為にはどんな村作りが良いのか。そしてその後にこれから日本国が必要としている広葉樹を育てる森林政策『明治神宮みたいな森林』に変更して頂けたら、国家戦力にも貢献する森林業になると思います。

豊かな森林は、洪水を防ぎます。豊かな土壌を育み美味しい農作物が出来ます。美しい水は豊かな海を育て美味しい海産物を育みます。

森林は人間が自然から頂く恵みの源です。現代の日本人に最も大事だと言われている文化的な人間力の向上にもつながると思います。

ところで日本全国で行われている公共事業を批判しているのでは、決して有りません。というかダム・河川改修と言う事は専門家が言う事は極当たり前です。

専門家の意見を集約するのは官僚。官僚を上手く使うのは政治家。一人一人の政治家が活動

するのが党組織です。明治維新以来色々な事が有ったと歴史で学んできましたが、小生がこの日本国民の一員でいられることは、全体としては決して誤りが多くなかった証拠だと思います。

しかし世界中で現在起こっている出来事に柔軟に対応するすべを持つことが我々の責任だと思います。

その為には日本人はもっと内向きではなく、外に目を向けるべきです。その為の人間を生み育てるのは日本の国土の安定した、比較的安全なインフラです。

100%インフラで災害を防ごうとしたら、国家予算の何倍かのお金を使わないと出来ないし、現在進んでいる地球温暖化の為に超大型の台風が確実に日本国を襲う気候に変化していれば従来の公共事業では無理だと解ったのが2011年の東日本大震災だと思います。

そうしたら荒れ狂う自然と調和した暮らしが出来るのかと言うダイナミックなビジョンを語る政治家が出られる仕組みを作るのが我々の役目だと思います。

最後に服部新聞で最も強調したいことは、100年先のビジョン『正しい森林にする為の政策』を語ってくれる人々を送り出せる仕組みが日本国内に必要なではないかと言う事です。

正しい森林政策を考える為の政策を考える為の豆知識

- 1、一年間に1億立方も人工林の材が増えています。
- 2、一年間で1億立方しか国内消費量がないです。
- 3、中国・韓国等に人工林材の輸出を始めました。
- 4、海外から大量の天然林材を輸入しています。
- 5、北海道産の広葉樹は昔世界一の品質だった。

1から5まで色々な事を書いています。これは一材木屋の経験にすぎません。大事なのは公共事業の中身を専門家が議論しているのを我々市民が確認できる様に政治が辣腕をふるってくれることだと思います。

北海道出張

10月10日～13日の期間今シーズン初めて旭川にて開催される第429回の北海道産広葉樹原木市売りに参加してきましたが、入札物件は2物件しか有りませんでした。又2物件共負けました。



東北出張

10月16日に日帰りで、盛岡木材流通センターで行われる岩手県森林組合連合会の第1138回木材共販入札に参加してきました。日帰りの強硬日程でした。

小生の亡き父は昭和22年から祖父と一緒に広葉樹原木を扱う材木屋の二代目として仕事をしていたが、昭和40年以前の広葉樹原木の買い付けをするホームグラウンドは東北地方でした。仕入先は木原造林がメインと聞いていました。

前頁の北海道の広葉樹の品質が悪かったから東北に仕入れに出かけたのでは有りません。北海道旭川にて開催される広葉樹銘木市に、東北材が多数出品されていると言う噂はかなり前から聞いていました。出品者（東北の原木を北海道旭川に出品）に文句を言うつもりは有りません。というか服部商店の考え方『産地とトレーサビリティを順守する商いの方針』どおりにする為にはどんな行動をすべきかと言う観点から服部として50年振りに出かけただけです。

トレーラー1車買い付けに成功しました。買い付けした樹種はブナ・ナラ・クルミ・クリ・ナシ・ホオ・サクラ・シナの8樹種です。原木を製材時の表示は東北産と表示します。決して混ぜて販売はしません。



東北産広葉樹原木展示場

別紙に買い付けした原木30口全ての原木を見てください

30口全て別紙に掲載しています。又服部商店のホームページに大きな写真を掲載しています。是非クリックしてください。大きな画像が見れます。

服部商店のトップ⇒ブログ⇒商品情報 ⇒2019-10-28 東北産広葉樹入荷



東北産広葉樹 原木入荷

2019-10-18 **商品情報**

東北産広葉樹 原木が10月末に30口入荷します。